

報告事項イ

平成23年度キャリア教育優良教育委員会、学校及びPTA団体等文部科学大臣表彰について

平成23年度キャリア教育優良教育委員会、学校及びPTA団体等文部科学大臣表彰について、別紙のとおり報告します。

平成24年2月9日

鳥取県教育委員会教育長 横 濱 純 一

平成23年度キャリア教育優良教育委員会、学校及びPTA団体等文部科学大臣表彰について

高等学校課

1 表彰の趣旨

この表彰は、キャリア教育の充実発展に尽力し、顕著な功績が認められる教育委員会、学校及びPTA団体等について、その功績をたたえ、文部科学大臣が表彰することにより、キャリア教育の充実を促進することを目的とする。

2 受賞校

鳥取県立岩美高等学校

3 功績概要

平成17年度より、キャリア教育を推進するための進路指導の充実を学校における教育の重点目標に据え、18年度には、「基本的生活習慣の確立」をベースにした「学力の向上」と「健やかな心身の育成」を図るキャリア教育を、全ての教育活動の中心に位置づけた。19年度から3ヶ年間文部科学省の研究指定を受け、企業や地域の有識者の方々と意見交換する中で、校外からの視線・期待等が分かり、教育内容の充実・発展に役立てることができた。校内では、キャリア教育推進委員会で、各学年の到達目標や教育内容、指導体制等について企画・立案し、キャリア教育研修会で全職員の共通理解及び意思統一を図り、その取組を進めている。

受賞校のキャリア教育では、1年次は「自己理解」、2年次は「自己体験」、3年次は「自己実現」と、常に自分自身との対話を進めることで、自分と他者や社会との関係性を考えさせ、人間力の向上を図り、社会人としての基礎を築くことを目標としている。

体験や経験が乏しい傾向の生徒が多いため、3年間をとおして順次、企業見学会、上級学校訪問、進路別の説明会や講演会・座談会、多数のセミナーなどを実施している。2年生では4日間の職場体験実習を行い、校外の方による指導を実施し、その事前事後指導を活用して、それぞれの体験が経験値として生徒個々の中で育まれ、健全な勤労観・職業観を醸成する教育活動としている。また、キャリア教育に関する1年次の学校設定科目、特別活動・総合的な学習の時間・学校行事、更には日常の高校生生活全般をとおして、人間力の向上を目指した指導に取り組んでいる。

このような取組の結果、卒業生の就職後の離職率や、上級学校への進学後の退学率に低下傾向が見られ、成果の一端が現れてきた。

4 表彰式

平成24年1月26日(木) 午前10時30分～11時30分
文部科学省東館3階講堂